
「リトル・チャイルド」 in グラインドハウス

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「リトル・チャイルド」 in グラインドハウス

【Nコード】

N7488L

【作者名】

ごほんライス

【あらすじ】

またまたグラインドハウス・シリーズ。グラインドハウスとは、B級映画を複数上映する映画館のことです。

さあさあ。グラインドハウスが始まるよう。携帯は切ったかな。ポップコーンは買ったかい。さあさあ。ビデオを回してる中国人のおっさん。今すぐ切りなさい。おまわりさんに射殺されるよう。

闇の向こうから誰かが走ってくる。小さい子どもだ。暗いので男の子か女の子かわかんない。裸足だ。

「はあはあはあ。おまわりさん、しつこいな。まだ追いかけてくる木々が、がんばれようと子どもに声をかける。

「ありがとう。ありがとう」
走りながら手を振る子ども。

「はあはあはあ。どうしよう。大人はやっぱり足が速いな。このままじゃ捕まっちゃうよう」

子どもは、前方にジェット熊を発見した。子どもはジェット熊の前で立ち止まる。

「ジェット熊のおじちゃん。あたしを乗せてくれない？」

「いいよ」

ジェット熊は子どもをおんぶした。そして、足からジェット噴射し、飛んだ。

「わー。おまわりさんが米粒だあ。すごい。すごい」

ジェット熊が、しつかり捕まっておれよお嬢ちゃんと言い、時速百キロ。すごい。すごい。風がすごい。

しかし、ジェット熊は調子に乗りすぎて、子どもを振り落とすとした。
「うわああああああ」

落下する子ども。ジェット熊は気づかずにそのまま飛んでゆく。

子どもは落ちながら、ふと学校の成績のことを思い出す。そう言えば、あたし、成績落ちてるんだった。

気持ちがだんだん落ちてきた。

しかし、なかなか地面に激突しない。これはいったいどうしたことだろうと子どもは不思議に思う。

子どもは、ひよっとして、底なし胃袋の中にまぎれこんだのかしらとおかしなことを考えたのが運の尽き。

実際に胃袋にまぎれ腸を通りお尻の穴からぶりぶり出てきた。

「いやあん。うんこまみれえ」

とここで、やっと子どもは池に着水する。

「あつぷ。あつぷ。あたし泳げないよう」

そのとき、池の中から、巨大なワニが現れた。

「あつぷ。あつぷ。あなた、だあれ」

「ジェットワニだよ。背中にお乗り」

ジェットワニは子どもをおんぶして飛び上がった。

速い。速い。時速百キロ。

ただ、ジェットワニも調子に乗りすぎて、月に突き刺さった。

「痛いよー！。うわーん」

月がわんわん泣いて、子どもを叩いた。

子どもは落下。

「うわあああああ。またあああああ」

その様子を見ていた山本はチャンネルを変えた。

「お。水着ギャル特集やってる。こっちの方がおもしろい」

画面に次々と水着ギャルが登場する。しかーし！

なんと水着ギャルはみな子どもであった。完全に児童ポルノ禁止法違反である。

警官がどたとどと乱入してきた。「ワイセツなちびっこどもを逮捕しろ」

子どもたちは走って方々に逃げた。

おしまい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7488/>

「リトル・チャイルド」 in グラインドハウス

2010年10月10日22時33分発行